

令和7年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和7年7月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和7年7月24日（木）10：00～13：30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・桐山事務局長・柏原教務主任

○松林校長より

職業実践認定校として、自己評価委員会での課題をふまえ、より良い学校になるために、改善に取り組んでいます。

時代の変化に合わせた学校にしていかななくてはと考えておりますので、第三者からの意見は貴重であります。

今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和7年度第1回自己評価委員会報告

令和7年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営4項目・教育活動の5項目・学修成果4項目・学生支援4項目・教育環境3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の順守2項目・社会貢献2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

今後の課題

- ① 学校管理システムの構築→10月校長主任会にて提案し具体化していく
- ② 国家試験学科対策の強化

（基準1）**総括** 環境の整備と並行し特色ある教育活動を行うため、カリキュラム等教育内容の充実を図っている。

特に業界のニーズに合わせた実践的教育を多く取り入れ即戦力となる人材の育成に努めている。

また、豊富な知識・技術力と併せて人間性や社会性を養うため積極的に社会貢献・地域貢献に関する活動へ参加を促し実施している。

教職員においては、毎年教育理念に基づいた明確な教育目標を示し、全教職員が共通認識の中で「社会に通用する人材の育成」を目指し取り組んでいる。

- ・教育理念や育成人材像は明確に定められている。美容師法並びに教育基本法・学校教育法に則り、美容師として必要な専門知識・技術を習得させると共に社会的常識を身に付けた豊かな人間性を養い、社会に貢献できる人材の育成を目指している。
- ・正確な基礎・基本を身に付けた上で、より高度な専門知識・技術を習得するため各種専門分野の業界外部講師授業を積極的に取り入れ即戦力となる人材の育成を行っている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・少しずつ時代に沿って変化しながら、サロンにおいて活躍できる人事育成は素晴らしいと感じている。継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・外部講師への教育理念共有方法として、紙面のみでなくZOOM等で伝えても良いのでは。

今後の改善方策

- ・教育理念の大切さを引き続き、共有していきたい。

(基準2) **総括** 社会情勢の急激な変化に伴い5ヶ年の期間を3ヶ年とし、より迅速な課題把握と対応を可能にした第9次3か年計画(令和7年～9年)を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機管理体制、施設設備の充実を図る。

- ・毎年、改良してはいるが、ホームページや学校パンフレットは継続的に見直しを行い、時代の変化に即した内容にしていく。
- ・学校の事業計画は、「自己点検・自己評価」を継続的に実施し「学校評価基準」に沿って第9次3ヶ年計画を策定した。
- ・昨年度採用した美容科2名、ビューティビジネス科1名の職員の教員研修を計画的に行っている。人材の確保と育成は継続して行う。
- ・学科担当教員の育成を計画的に行っていく。
- ・学生管理システムの構築を進めている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・単位制への移行によって、今以上に教員は必要となる。他校のようにサロンで活躍している美容師を先生にすることは可能か?→現役学生の採用も含めて、教員採用に力を入れている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学校として生き残っていくために単位制が必要なのであれば良いのでは。長野県に美容学校は必要である。協力はいくらでもするので、頑張してほしい。時代に合った人材確保において単位制への移行も必要。

今後の改善方策

- ・人材育成については、難しい部分もあるが引き続き大切に育成をしていきたい。
良い人材がいれば紹介してください。今後、時代に合った学校の在り方を検討していきたい。

(基準3) **総括** 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。2学年選択授業はカット&カラー、まつげエクステンション、フォトメイク、ネイル、ブライダルのうち2科目選択を実施した。

- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただき、板書や進度についての打ち合わせを行った後、授業に入っていた。各課目サロン講師や各種スペシャリストに講師をしていただいた。
- ・資格試験、検定試験などの手合わせや、ジャッジ方法の確認を行っている。
- ・新任職員の技術力、指導力向上のため、定期的にミーティングや手合わせ、技術研修などを行っている。
- ・授業科目の教員資格を確認し、採用を行っている。美容科香粧品講師1名、ビューティビジネス科化粧品化学講師1名、東洋医学講師1名を採用していただいた。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・資格取得に向け、放課後等を活用し個人指導を行い取得率向上に努めている

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学校の特色づくりは必要。生き残る学校にしてほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・特別セミナーをもっと開催しても良い。時代に合ったカリキュラム内容にしていくべきである。

今後の改善方策

- ・新しい指導方法を検討し、前向きに導入していきたい。

(基準4) **総括** 入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・休退学者について、転職が当たり前時代であるが保証人の在り方も今後検討していても良いのでは。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・検定の在り方として、興味のある内容・カリキュラムにしていくべきである。
- ・国家試験学科について、国家試験の大切さを、学校外に人から伝えてもらえるにより真剣になるのでは。学生指導においては、コンセプトが大事である。学生に振り回されないこと。

今後の改善方策

- ・在校生満足度を一番に考え大事に育成していきたい。本校に来て良かったと思ってもらえるよう気を付けて指導している。

(基準5) **総括** 本校の特色は、夢と希望を持って将来美容師やエステティシャンを目指して入学してくる生徒の夢がかなえられるよう、最大限の指導と協力を惜しまない体制がある。

- ・いつでも相談できるよう体制は整えてあるが、あまり活用されていないのが現状。様々な相談がもっと気軽にできるようLINEでの相談を始めた。
- ・「給付型修学支援」 対象者 1年生35名 2学年24名
- ・給付型、多子世帯共に周知され申し込み多数。
- ・申し込み後の退学や休学になる学生がいる。学校としての推薦も慎重に行っているが判断が難しい。
- ・4月10日(木)1年生対象の就職説明会をオリエンテーション時に実施

学校関係者評価委員コメント 早川委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より 適切に行われている。

(基準6) **総括** 電子黒板やWi-Fiなどを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・設備がとても素晴らしく、生徒達は幸せである。研修については、海外研修も含め、時代に合った内容にしてほしい。

今後の改善方策

- ・今後も引き続き、時代に合った研修内容にしていけるよう努力していく。

(基準7) 今後の学生募集

令和7年度学生募集については、多くの入学希望者を確保することができた。

ひとえに、伝統校としての信頼感に加え、学校の雰囲気良さ。先生たちが大切に学生たちを育成している点が選ばれた理由だと感じている。

今後はより一層県外流出防ぐ手立てと、時代に合った広報活動に力を入れていく。

- ・ビューティビジネス科への職業理解と入学動機を喚起して、入学生の確保に努める。
- ・ビューティビジネス科の学生数が伸び悩んでいる。現場の先生方と意見を出し合いながら、より一層ビューティビジネス科の魅力を伝えていく必要がある。
- ・学生募集において、オープンキャンパスが最終決定の要となるため、内容をより興味を持ってもらえるよう、検討していきたい。
- ・高校廻りを実施する準備を開始している。(9月10月予定)
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策一環として、山梨県、進路ガイダンス参加。新潟方面への進路ガイダンス参加強化している。
マイナビ・リクナビの活用ABN高校野球甲子園イベント告知(5月~8月)
本校希望以外対称+新潟地区美容系希望者対象DM発送(7月~8月)
- ・データ化準備開始 8/8 業者プレゼン予定
- ・新法改正による情報公開をHP構築した。(6月)
- ・2025年度新パンフレット4月納品
- ・学園HP内容について、新しい業者(ながの小町)との打ち合わせを開始している
- ・広報内容について、時代に合った方法を構築していく。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学生募集は難しい時代だが、特色として、先生と生徒が学校の魅力であることは、とても素晴らしい。継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・各校定員100名ずつを目指す方をより具体的に検討し、県外流出しないよう頑張ってもらいたい。
- ・インスタ広告は効果がある。広報企画部の予算等の在り方、使い方の検討が必要では。

今後の改善方法

- ・学生募集においては、在校生満足度を1番に考え、より良い魅力的な学校。選んで頂ける学校になるよう工夫し、努力していきたい。特待生の考え方、寮のあり方など、問題点について今後、検討していく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員

- ・福祉理美容師の資格取得できることは、素晴らしい。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

(1) 令和7年度重点目標実施中間報告

中間報告として、現時点で令和7年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 接客の基本

- 「時間管理」「言葉遣い」「挨拶」「美しい環境」

重点目標② 学ぶ姿勢

- 「体調管理」「素直な心」「感謝」

重点目標③ 職員の指導力強化

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・特に問題はない。業界全体を良くするために、引き続き協力していきたい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・人を育てるには良い環境作りが必要である。自信をもって頑張ってもらいたい。プラスを共有することが大事である。

今後の改善方策

- ・マニュアル化しているサロンが増えてきている。やり方のみでなく、なぜそうするのかの意味合いが大事。基本はぶれなくて良いのでは。働きやすい。学びやすいを共有できるマニュアルが必要では。

【まとめ】 学校としていろいろな課題があるが、一つずつ前向きに頑張っていきたい。

3. 次回予定

令和7年度第2回学校関係者評価委員会 令和8年2月18日(水) 10:00～